

追悼 中沢啓治

絵本はだしのゲン原画とマンガ展

2013年

8月1日(木)~8月31日(土)

11:00~16:00

会期中の休館日 月曜日

大人500円 小中高生200円

※入館料を含んでいます。

麦のように 生きるんじや



絵本はだしのゲン(汐文社)より



はだしのゲン

はだしのゲン第1巻(汐文社)より

追悼中沢啓治 映画上映とトークイベント

映画

はだしのゲンが伝えたいこと

出演:中沢啓治
(はだしのゲン作者)

監督:石田優子
(32分)



はだしのゲンが
伝えたいこと

みんなで話そう
はだしのゲン

—中沢ミサヨさんを囲んで
中沢啓治氏夫人

8月3日(土) 13:30~16:00

ピースあいち1階にて

参加費 500円(小中高生無料)

参加申込みはピースあいちへお電話ください。

はだしのゲンが
連載された当時の
週刊少年ジャンプも展示



戦争と平和の資料館 ピースあいち

展示協力
中沢ミサヨ、広島平和記念資料館

〒465-0091 名古屋市名東区よもぎ台2丁目820番地

電話・fax 052-602-4222

▶ 地下鉄東山線「一社」駅①出口から北へ徒歩約13分

▶ 地下鉄東山線「上社」駅から市バス11号系統「じあみ」下車、西へ徒歩約3分

ピースあいち <http://www.peace-aichi.com/>

ドニキエコきっぷ・一日乗車券でご来館の方は入館料割引!

8月1日から8月31日の間 大人500円→450円 小中高生200円→150円

2007年5月、平和を願う多くの市民の力でオープンした戦争と平和の資料館「ピースあいち」は、今年6周年を迎えました。現在約90名のボランティアが、平和を愛するすべての人たちに開かれた場所でありたいと、運営・活動に携わっています。



イベントのご案内

詳しくは、HPをご覧ください。

2013年・夏の戦争体験者による語り

◆8月1日(木)～15日(木)〈1日1回、全9回を予定〉

◆語り手 ピースあいち「語り手の会」のメンバー

テーマ

〈空襲体験〉〈戦時下の暮らし〉〈学徒動員の体験〉〈広島
の原爆体験〉〈シベリア抑留〉〈父の体験を語る〉〈満蒙
開拓団〉など

※当日のプログラムは電話で確認してください。



△昨年のイベントの様子

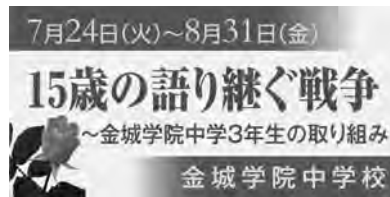
15歳の語り継ぐ戦争

—金城女学院中学生の壁新聞展

◆7月23日(火)～8月31日(土)

◆2階プチャラリーにて

金城学院中学3年生の修学旅行は、原爆投下された町広島を訪ねる平和学習の旅。その旅でひとり一人の生徒が見た、感じたヒロシマをまとめた「壁新聞」。広島の旅は、生徒たちの心の中でどのような波をおこしたのでしょうか。



△昨年の展示の様子

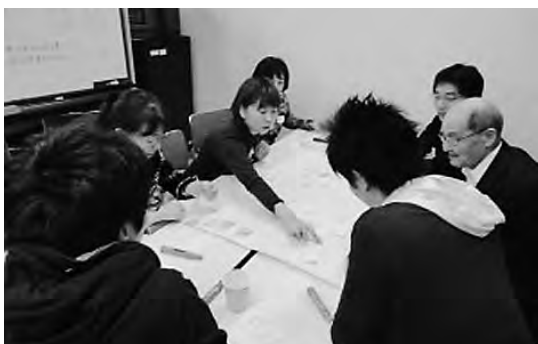
歴史で結ぶフィリピンと日本

—元兵士からのメッセージ

◆8月10日(土) 13:30～15:30

◆主催 NPOブリッジ・フォー・ピース、PATH
協力 ピースあいち

アジア太平洋戦争中、戦場となったフィリピン。多くの犠牲者を生み、今も戦争の傷が癒えない人々、そして加害行為に自責の念に苦しむ元日本兵がいます。両者のビデオメッセージとワークショップを通じて過去・現在・未来と向かい合います。



ワークショップ

ピースあいちを応援してください

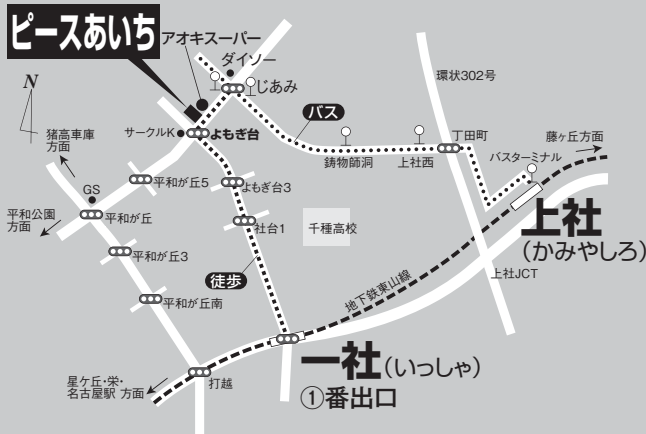
2013年 賛助会員拡大プロジェクト

ピースあいちは、開館から6年、先の戦争を伝え、平和を考えるために、さまざまな活動を行っています。財政は、NPOの会員の会費によって支えられていますが、現在の会員数は750人余で、財政は弱体です。毎年、寄付や助成金で補っていますが、大変不安定です。



そこで、2013年は賛助会員拡大プロジェクトとして、300人の賛助会員を増やすことを目指しています。ぜひ、あなたも賛助会員になって、ピースあいちを応援してください。

●専用振込用紙を用意していますのでご利用ください。



交通：公共交通機関をご利用ください。

- 地下鉄東山線「一社」①出口から北へ約13分
- 市バス上社11系統右回り「じあみ」下車西へ約3分

〒465-0091

名古屋市名東区よもぎ台2丁目820

TEL・FAX 052-602-4222

http://www.peace-aichi.com/



「ピースあいち」では、月1回メールマガジンを配信しています。ホームページからお申し込みください。(無料)